

今週のお祈り

聖霊降臨後第18主日(特定21)特禱

憐れみ深い主よ、どうかみ民を赦し、平安を与え、その罪をことごとく清め、穏やかな心をもって主に仕えさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン



日本聖公会 東京教区
聖パウロ教会 にちようがっこう
〒153-0053 目黒区五本木 2-20-1
でんわ：03-3710-6031

号外 167

発行日
2023年
10月1日

先週金曜日は「中秋の名月」でした。今年はちょうど満月だと聞いていたので楽しみに夜空を見上げてみましたが、雲に隠れてあまり見えませんでした。まだ暑さは残っていますが、秋を感じますね。



今週の聖書 マタイによる福音書 21：28～32

28 「ところで、あなたがたはどう思うか。ある人に息子が二人いたが、彼は兄のところへ行き、『子よ、今日、ぶどう園へ行って働きなさい』と言った。29 兄は『いやです』と答え

たが、後で考え直して出かけた。30 弟のところへも行って、同じことを言うと、弟は『はい、お父さん』と答えたが、出かけなかった。31 この二人のうち、どちらが父親の望みどおりにしたか。」彼らが「兄のほうです」と言うと、イエスは言われた。「よく言うておく。徴税人や娼婦たちのほうが、あなたがたより先に神の国に入る。32 なぜなら、ヨハネが来て、義の道を示したのに、あなたがたは彼を信じず、徴税人や娼婦たちは信じたからだ。あなたがたはそれを見ても、後で考え直して彼を信じようとしなかった。」

聖書からのメッセージ 司祭 アンデレ 橋本 克也

「ぶどう園」とは、招かれて神の国の働きのある生活をする所です。ふたりの兄弟のうち、兄は、『いやです』と答えただけで、後で考え直してぶどう園に出かけました。もう一人は、『承知しました』と答えただけでぶどう園には出掛けませんでした。『いやです』という答えには、実は「自分は神の国にはふさわしくないのではないか」という思いが隠されています。一方『承知しました』という答えには、自分たちこそふさわしいのだと言いながら、他の人々を軽蔑や排除をしまっている人の弱さを感じます。それは、神の国の生き方にはふさわしくないことにも気付かされます。